

関西倫理学会 2024 年度大会のご案内

研究発表・依頼発表・シンポジウムの要旨は、下記の学会ウェブサイトに掲載しています。

関西倫理学会ウェブサイト <http://kansai-rinri.org/>

開催校からの関連情報サイト <https://scrapbox.io/sustainability-ethics/kanrin2024>

日時 2024 年 11 月 9 日（土）、10 日（日）

場所 南山大学

【第 1 会場】

Q 棟 1 階・Q104 教室（個人研究発表 1・依頼発表・総会）

【第 2 会場】

Q 棟 1 階・Q103 教室（個人研究発表 2 を実施）

【第 3 会場】

G 棟 2 階・G28 教室（シンポジウムを実施）

メインストリート側から入った階が 2 階になります。

この会場は日曜日の午後のみ入ることができます。

【会員控室】

Q 棟 1 階・Q101 教室

【委員会会場】

Q 棟 1 階・Q102 教室

なお、同じ Q 棟の三階などで別学会が開催されているので、ご注意ください。

キャンパスマップ

※キャンパスマップは本案内の 5 頁に掲載しています。

※周辺住民の生活環境への配慮から、できるかぎり民家への影響の少ない（車道に面した山手通に沿った）通学路を南山大学では設定しています。参加者の皆様も推奨ルートをご利用いただきますよう、お願いいたします。

利用交通機関

・（推奨）名古屋市営地下鉄 名城線 「名古屋大学」 駅下車、1 番出口、徒歩約 8 分
本案内に掲載しているキャンパスマップに推奨ルートを示しています。

・名古屋市営地下鉄 名城線 「八事日赤駅」 駅下車、徒歩約 8 分
こちらからの場合も山手通に沿って、山手通門から敷地にお入りください。

キャンパス内およびキャンパス付近の食堂・購買・コンビニの開店時間

- ・できるだけ昼食をご持参いただくことを推奨いたします。
- ・学内の食堂およびコンビニは両日共に休業の可能性があります。
- ・付近の飲食店も日曜は閉まっている場合があります。
- ・キャンパス付近にコンビニは複数ありますが、会場から戻って買いに行くのは大変です。

印刷について

・学内に学外者がすぐ使えるコピー機はありません。開催校も研究発表者に対して印刷サービスを提供しませんので、資料を配布する場合は各自でハンドアウトを持参してください。

懇親会について

・今回、公式懇親会は開催しません。

プログラム

11月9日（土）

受付開始 9:30

○研究発表・午前の部（合間の休憩5分）

【第1会場】Q棟1階・Q104教室

10:00-10:40

J. Butler の連帯論の考察——文化翻訳と不安定性の観点から

成田玲於奈（大阪大学）

司会：江口聡（京都女子大学）

10:45-11:25

日本の性風俗を利用する男性客イメージの再考に向けて

廣畑志織（大阪大学）

司会：江口聡（京都女子大学）

11:30-12:10

高齢者に対する年齢差別と若年者に対する年齢差別

中村貴行（京都大学）

司会：岡本慎平（広島大学）

【第2会場】Q棟1階・Q103教室

10:00-10:40

ヒラリー・パトナムの「道徳的イメージ」と倫理学方法論

高木博登（京都大学）

司会：新茂之（同志社大学）

10:45-11:25

ローティにおける認識論から解釈学への転回は何を導くのか？

入江祐加（岡山理科大学）

司会：新茂之（同志社大学）

11:30-12:10

S. ブラックバーンの投影主義について

——源泉であるヒュームの理論に着目して

新田杏奈（関西大学）

司会：林誓雄（福岡大学）

12:10 (:15)-13:30 昼休み・委員会（委員会の会場はQ棟1階・Q102教室）

○研究発表・午後の部（合間の休憩 5分）

【第1会場】Q棟1階・Q104教室

13:30-14:10

鶴見和子における地域社会の公共徳倫理としての受苦と共生の思想
—内発的発展論から内発的キー・パーソン論へ

丹羽一晃（大阪公立大学）

司会：紀平知樹（兵庫県立大学）

14:15-14:55

石と他者—オブジェクト指向存在論の倫理学

中間統彦（東京大学）

司会：鈴木崇志（立命館大学）

【第2会場】Q棟1階・Q103教室

13:30-14:10

トマジウスの社交性概念

高木裕貴（信州大学）

司会：石崎嘉彦（摂南大学名誉教授）

14:15-14:55

「日常」と「非日常」の境目にあるもの

溝越大秦（大阪大学）

司会：大石敏広（北里大学）

15:10-15:55 依頼発表 【第1会場】Q棟1階・Q104教室

洞察とオピニオン—哲学対話は社会実装に導くか

中岡成文（元大阪大学教授／一般社団法人哲学相談おんころ代表理事）

司会：堀江剛（大阪大学）

16:10-17:10 総会 【第1会場】Q棟1階・Q104教室

11月10日（日）

受付開始 9:30

○研究発表（合間の休憩 5分）

【第1会場】Q棟1階・Q104教室

10:00-10:40

合意と事実の真理性—アレントとハーバーマスの比較から

志水凜（大阪大学）

司会：濱良祐（同志社国際中学校・高等学校）

10:45-11:25

抽選と自律

福家佑亮（東京大学）

司会：鈴木真（名古屋大学）

11:30-12:10

普遍主義的自由論は、軍事支援を正当化しうるのか

米田恵 (大阪大学)
司会：田中朋弘 (熊本大学)

【第2会場】Q棟1階・Q103教室

10:45-11:25

ジャンケレヴィッチにおける死の問題

田中優一 (同志社大学)
司会：松葉祥一 (同志社大学)

11:30-12:10

デュルケム道徳論の倫理的意義：義務と善の調和を目指して

堀内智吉 (立命館大学)
司会：児玉聡 (京都大学)

12:10-13:30 昼休み

13:30-16:30 シンポジウム 【第3会場】G棟2階・G28教室

テーマ：「言葉と倫理の諸問題—応用言語哲学の展開を踏まえつつ」

司会（企画）：佐藤岳詩 (専修大学)
佐々木拓 (金沢大学)

シンポジスト：和泉悠氏(南山大学)
小田切建太郎氏(熊本学園大学)
堀田義太郎氏(東京理科大学)

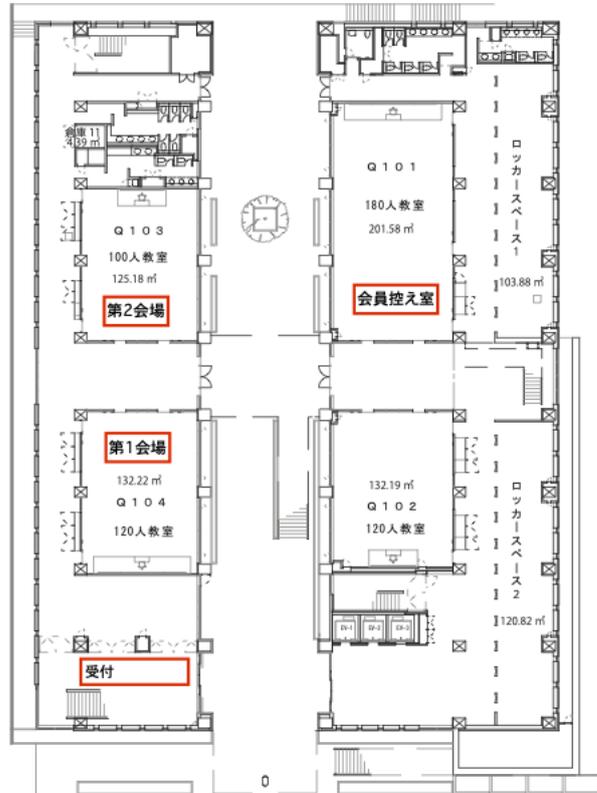
※シンポジウムにおけるディスカッションの際の質問内容について、『倫理学研究』に近年は匿名で記載する傾向にあります。原稿の取りまとめをシンポジウム企画者（＝質問者ご本人とは異なる人）が行う関係から、質問内容の紹介において質問者の意図と若干の相違が生まれる可能性があります。あらかじめご了承ください。また、質問者の実名を掲載する場合は、必ず内容および掲載の可否についてご本人に確認することといたします。

会場：南山大学（Q棟、2日目午後のシンポジウムのみG棟）
〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18



1. 名古屋大学駅 1 番出口を出て、出た向きのまま山手通に沿って直進する。
2. 横断歩道を渡って、さらに直進する。
3. しばらく緩い坂道を上っていくと、石でできた南山大学のキャンパスがあります。右に曲がる上り坂があるので、そこから敷地に入る（山手通門）。
4. 神言神学院を右手に見ながら上っていくと敷地が一旦途切れているので、細い道を渡って向かい側の敷地に入る。
5. 敷地内の坂道を下っていくとまた敷地が一旦途切れるので、その先にある東門を通過して敷地に入る。
6. 道なりに少し上ると、キャンパスの中心を通るメインストリートに出るので、右に曲がる。
7. 二日目のシンポの会場となる G 棟などを通り過ぎて、下りになるあたりの右手に Q 棟があります。
8. そのまま建物に入ると 2 階になるので、少し坂を下りたところから入ってください。左手の自動ドアから入ったあたりに受付があります。

1階



メインストリート側

Q棟